

先週のマーケット動向(12月26日～12月29日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,276.0	1,281.1	1,262.1	1,264.5	▲16.3
JPY/KRW	9.6106	9.6733	9.4415	9.4507	▲0.203
KOSPI	2,312.54	2,335.99	2,236.38	2,236.40	▲77.29

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。23日に発表された11月PCEコアデフレーター(結果:前月比4.7%、予想:同4.6%)、11月個人所得(結果:前月比0.4%、予想:同0.3%)はいずれも底堅い結果となる中、米金利は上昇し、26日のドル/ウォンは1,276.0にてオープンした。週前半は中国による入国者隔離措置の緩和などの報道等あり、アジア株が上昇するとドル/ウォンは下落。週後半には中国におけるコロナ感染爆発を受けて、日本を含む各国が中国からの入国制限措置を取るとの報道があり、若干のリスクオフとはなったものの、市場参加者が限られる中、ドル/ウォンは実需のウォン買いに押されて上値の重い展開が継続した。29日には1,262.1まで下落し、結局、先週対比16.3ウォン下落した1,264.5ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは方向感に乏しい展開を予想する。週初は正月明けのため市場参加者が限られているほか、韓国においても実需のフローも限定的となることが予想され、ドル/ウォンはほとんど動意のない展開が予想される。週後半にかけては市場参加者が戻る中、欧米株式市場では2023年のテーマを模索し、株式市場が方向感を持った動きが出ると予想される。足許では2023年のテーマがグローバルな景気悪化への懸念になるとの見方が大きいことから、ドル売り優勢になることを予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1245 ~ 1275	9.45 ~ 9.70	130.0 ~ 132.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 2日(月) 欧 12月 製造業PMI 確報値
- 3日(火) 米 12月 製造業PMI 確報値
- 4日(水) 欧 12月 サービス業PMI 確報値
- 米 12月 ISM製造業景況指数
- 中 12月 総合PMI
- 中 12月 サービス業PMI
- 米 FOMC議事録
- 5日(木) 米 12月 サービス業PMI 確報値
- 中 12月 貿易収支
- 米 12月 ADP雇用統計
- 6日(金) 欧 12月 消費者信頼感指数 確報値
- 米 11月 耐久財受注 確報値
- 米 12月 非農業部門雇用者数
- 米 12月 失業率
- 米 11月 製造業受注
- 米 12月 ISM非製造業景況指数